



さ せ ぼ くろし ま
佐世保市立黒島小学校

～ 黒島の自然の恵みを生かした食文化を体験しよう ～

【受賞者の概要】

佐世保市立黒島小学校

- ・所在地: 佐世保市黒島町3184番地
- ・創立時期: 明治8年
- ・全校児童数: 10名



【受賞時の活動・現在の活動】

赤土で育ったさつまいもを使用して作る「かんころ」や、にがりの代わりに海水を使用して作る「黒島豆腐」などの伝統的な郷土料理について体験学習を行っています。豆腐作りは、地域の方をゲストティーチャーとして招き、指導のもと、大豆作りから体験しています。大豆は地元黒島でとれたものを使用、栽培・水やりや草取りは児童が協力して行っています。かんころもち作りも、ゲストティーチャーの指導のもと、さつまいも作りから体験しています。薄切りにし、ゆでて天日干しをして出来上がったかんころは、地域の方や保護者を招いて行うもちつきの際、一緒に蒸し、みんなでかんころもちを作ります。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

体験学習には、保護者や地域の方にも参加してもらうことで、児童にとっては、郷土料理への関心を高めるとともに地域交流の機会となっており、食育活動を通して地域の活性化にも繋がっています。

【今後の展望(これからの夢)】

学校から家庭や地域へ「お便り」等で情報発信することで、黒島で受け継がれてきた食文化に対する地域全体の意識をさらに向上させていきます。

併設校である黒島中学校と連携し、児童生徒の発達段階をふまえながら、小中学校合同での食に関する体験活動を、今後も引き続き継続していきたいです。

平成29年度
受賞

さいかい はりお
ながさき西海農協青年部針尾支部

～ 児童とミカン栽培を通じた食農教育の推進 ～

【受賞者の概要】

ながさき西海農協青年部針尾支部

- ・所在地: 佐世保市針尾中町172-2
- ・創立時期: 平成14年
- ・会員数: 19名



【受賞時の活動・現在の活動】

地元の針尾小学校児童を対象に低学年時に農業の基本を学んでもらうため、さつまいも、人参、じゃがいも、トマト、みかんの農作業や米作りの体験活動を行っています。

青年部が栽培している「西海みかん(味っ子、味まる)」の活動に特に力を入れており、児童が、施肥・摘果・収穫と一連の作業を行うことで「食育活動」だけではなく、「食農教育活動」として、子ども達へ「農業の魅力」を伝える機会ともなっています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

児童が、自分が住んでいる地域に誇りを持つようになり、栽培上での失敗を経験することで「失敗しても取り戻せる」ことを知り、何事にも意欲的に取り組むようになりました。

また、児童だけでなく、教職員や家庭における地元農作物に対する意識向上にも繋がっていると感じています。

【今後の展望(これからの夢)】

子どもが変われば、必ず大人にも変化があるので、地域全体が「自分たちの地域は自分たちで守り育てる」ことをJAとJA女性部と地域とともに行っていきます。



なかお けいこ
中尾 慶子

～ 生ゴミリサイクル元気野菜づくりの取組を広げたい ～

【受賞者の概要】

中尾 慶子

- ・吉井保育園副園長(受賞時: 聖和女子学院講師)
- ・佐世保市在住



【受賞時の活動・現在の活動】

NPO「大地といのちの会」の「生ゴミリサイクル元気野菜づくり」を中心とした、学校や地域の様々な団体を対象とする食育活動を行っています。

最近は、みそ造りや食育講座にも力を入れています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

中高等学校の理科教育の現場で環境や健康の現代社会での課題を感じ、健康と環境を自ら守れる実践力の定着を目指して取り組んできました。子ども達の未来のためにという思いでつながれば、学校や社会が協力し合い広げていける実感があります。土ごと発酵の野菜の生命力の強さを体験してもらった体験活動、味噌作り食育講座など実施し、今後も体験を通じて体の声を感じとれる感性を磨く食育活動に力を入れていきたいです。

【今後の展望(これからの夢)】

今後の10年は幼児教育現場から食育の知識と実践を家庭、地域に広げていけるように尽力していく所存です。生ごみリサイクル元気野菜づくり体験もJICAなどの毎年の視察も続き、循環型社会への身近な取組として関心と広がりをみせています。手作りの味噌づくり教室も毎年継続されている地域が多く、腸内環境や免疫力の仕組みなどを理解し、日々の実践に結びつける家庭が増えています。今後も長崎県全域への浸透を目指し全国へ発信し続けます。